

評価項目及び評価基準表

業務名：大倉山ジャンプ競技場ラージヒル改修基本設計等業務

実施委員審査項目（各委員が採点）

審査項目	評価項目	評価の視点	配点
1. 業務実施体制	(1) 企業の類似業務実績	ジャンプ競技場の改修設計という専門性や特殊性の高い業務内容に対して、履行に必要な適切な業務実績を有しているか。	25
	(2) 配置技術者（土木）	土木工種の配置技術者は、統括責任者として、本業務の履行に有効な類似業務実績や保有資格等を有しているか。	
	(3) 配置技術者（建築・機械・電気）	建築・機械・電気工種の配置技術者は、本業務の履行に有効な類似業務実績や保有資格等を有しているか。	
	(4) 業務管理体制・方法	複数工種にまたがることを踏まえ、設計内容の調整や情報共有、進捗管理、成果確認等について、工種横断的で有効な管理体制や管理方法となっているか。	
2. 業務実施方針	(5) 事業特性、課題等の把握	本事業特有の事業特性や、履行する上での課題等を的確に把握しているか。	25
	(6) 設計（土木・建築・機械・電気）の実施方針	各工種の設計にあたり、明確な判断根拠に基づく質の高い検討プロセスが期待される実施方針か。	
	(7) 設計成果の品質向上	ラージヒル改修の実施設計や工事に手戻りなく円滑につなげていくため、設計対象物の仕様や規格の設定、工事工程や概算工事費等について、精度の高い成果が期待されるか。	
3. 提案内容	(8) 業務スケジュールの創意工夫	厳しい履行期間の中で効果的・効率的に業務を履行するため、具体的な業務履行上のコントロールポイントやこの解決に向けた工夫が盛り込まれ、確実性の高い業務スケジュールとなっているか。	50
	(9) ノーマルヒル段階整備を見据えた各設備の設計方法	今回の先行したラージヒル改修に当たって、後年次のノーマルヒル整備を見据えた留意点や解決方法など、効果的・効率的な設計が期待されるか。	
	(10) その他独自提案	業務目的を達成するにあたり、独自提案の内容に具体性と信頼性があり、有効な提案となっているか。（独自提案がない場合、当該評価項目はゼロ点とする）	
		合計（委員一人あたり）	100